

学校比較シート(詳細版)

ダウンロード可

学校名	ワカモノ高校	キャンパスの場所	〒112 東京都中央区本町1-1-1
設立年	1970年	校舎	●●●●●●
入学金	100,000円	授業料	100,000円
通学時間	約20分	制服	あり
部活動	サッカー、野球、バスケットボール、バレーボール、卓球、水泳、柔道、剣道、空手、柔術、少林寺流、少林寺流、少林寺流、少林寺流	奨学金	あり
進学実績	東京大学 10名、京都大学 5名、早稲田大学 10名、慶応義塾大学 10名、立教大学 10名、明治大学 10名、法政大学 10名、中央大学 10名、東京理科大学 10名、東京経済大学 10名、東京工科大学 10名、東京海洋大学 10名、東京外国語大学 10名、東京国際大学 10名、東京経済大学 10名、東京理科大学 10名、東京海洋大学 10名、東京外国語大学 10名、東京国際大学 10名	その他	あり

実際のワークシートはこれが3校分比較できるようになっている。左側は『進学事典』で調べる項目、右側は取り寄せたパンフレットで調べる項目。LHRの時間に3校分を調べて記入するが、時間内には終わらせず、課題として持ち帰る生徒も少なくない。調べなくてはならないことがかかが多いかを知ってもらうにも有効。

各担任への連絡事項

ダウンロード可

<p>この時間の目的</p> <p>(1) 自分が希望している学校について、細かい内容まで確認する。</p> <p>(2) 希望の学校を調べて整理する。</p> <p>① 「学校比較シート(詳細版)」(A3用紙を2枚折って、「目的」を確認後、項目に沿って調べて記入させる。必要に応じて追加の項目も記入させる。</p> <p>② 資料で取り寄せられている項目→「進学事典」で調べられる項目の不足を洗い出す。</p> <p>③ 希望の学校を絞りこむ。</p> <p>④ 「学校のパンフレット」を調べる。</p> <p>⑤ 「学校のパンフレット」を調べる。</p> <p>⑥ 希望の学校を絞りこむ。</p> <p>⑦ 希望の学校を絞りこむ。</p> <p>⑧ 希望の学校を絞りこむ。</p> <p>⑨ 希望の学校を絞りこむ。</p> <p>⑩ 希望の学校を絞りこむ。</p>
--

学校調べのために各担任に配布した指導案。授業の目的や注意事項が書いてある。



3学年主任 杉浦健爾先生(右)
進路指導部 山崎美奈子先生(左)

「自分で調べるということはとても大切。学校調べをきっかけに当事者意識をもってほしい。」(杉浦先生)。「たくさんの情報に触れて、悩んで悩んで進路を決めてほしいと思います」(山崎先生)

ダウンロード可

※ダウンロードサイト: キャリアガイダンス.net > クラス担任のためのキャリアガイダンスvol.19 2013.11

『進学事典』で学校パンフレットを請求
ワークシートで3つの学校を比較し
漠然とした進路希望を具体化

千葉・県立千葉西高校

東京湾に臨む恵まれた環境に位置する千葉西高校。生徒の多くが四年制大学への進学を希望する中堅の進学校である。

同校では、2学年の秋の修学旅行が終わったあとがスイッチの切り替え時期。3学年からの文理によるクラス分けを目前にひかえ、科目選択も終了。志望校を真剣に考え始める生徒が多いのがこの時期だ。

進路実現に向けて
初めての、個別作業

この2学年の3学期という時期に合わせて導入しているのが、『進学事典』を使った学校調べ。1月、まず生徒に『進学事典』を1冊ずつ配布。生徒は学校や自宅でも興味のある学校を少なくとも3校選び、事典についている資料請求はがきを使い各自で学校パンフレットを取り寄せる。事典と、自宅に届いたパンフレットを、2月のLHRの時間に学校に持って行き、一斉にワークシートを使った学校調べを行うという流れだ。

「学校選び、ワークシートとともに、自分で考えて行う」というのがポイントです。2学年の秋までに行う進路指導は、進路ガイダンスなどほとんどが

全体に向けてのもの。個人個人が落ち着いて取り組む学習は、この学校調べがはじめてとなります」と3学年主任の杉浦健爾先生。杉浦先生は、昨年、2学年主任として学校調べに携わった。

ワークシートは『進学事典』や学校パンフレットを見ながら書き込む内容になっている。何を学ぶかといったことや初年度納入金などは『進学事典』で入試制度や学生支援制度についてはパンフレットで調べて書き込む。「通学の交通手段も調べます。すると、漠然と〇〇大学に行きたいと思っていた生徒が、興味のある学部は通えない場所にあると気づいたりします。ワークシートを埋めるためには、パンフレットをかなり読み込まなければならず、隅々まで目を通すことで学校選びの視点も広がると思います。進路はまだ漠然としている生徒にとっては、具体化するためのきっかけづくりに最適な作業になっているようです」と、進路指導部の山崎美奈子先生は言う。

ワークシートは担任が回収し、どの学校を選んでいるか、見当違いのことを書いていないかなど基本的なチェックをして、すぐに生徒に返却。「さらに深く調べるとか、保護者と相談するか、フォーマットに沿って3校以外の学

校も調べてみるとか、自分たちで活用するよう促しています」(山崎先生)。

ワークシートの活用で
生徒の自覚を促す

各自がパンフレットを取り寄せることにしたのは昨年度から。それまでは『進学事典』だけを使い学校調べを行っていた。「今の生徒たちはいつでもスマホで調べられるからと、逆にのんびりしているところがあります。資料請求というアクションを起こし、アナログの資料をきちんと読み込んで調べることが、生徒の自覚を促すのに有効」と杉浦先生は言う。

確かに生徒たちに自覚が生まれていく実感もある。山崎先生によると、「昨年度は、春休みに自主的に大学見学に行くという生徒が多かったです」とのこと。言われたことはきちんとこなすまじめな生徒が多いという同校で、今課題となっているのは、生徒の自主自立。「自分で書いたワークシートをその後、どう活用するか。そういったところにも自主性を育むヒントがあると思っています。まずは生徒が自分の進路と向き合っ行動を起こしたということを評価して、自立を促していきたいと思っています」(杉浦先生)

スクールデータ

生徒数 / 1038人
(男子453人・女子585人)
普通科26学級
進路状況(平成12年度実績) /
大学進学74.6%・短大進学5.0%
専各進学7.8%
就職(公務員)1.0%・その他11.6%

千葉県千葉市美浜区磯辺3-30-3
電話 / 043-277-0115
http://www.chiba-c.ed.jp/chibanishi-h/

